

unify

東日本ユニオンNIIGATA

http://www.geocities.jp/higashinihonunion_niigata/

2017年10月1日発行

第4号(通巻188号)



JR東日本労働組合新潟地方本部
発行者:星山 圭 編集者:教育・広報部

この間を振り返ろう!



満額獲得! 2017年末手当 ①

去年の年末手当を振り返ろう!

年末手当は、頑張った社員に対する利益の成果配分です!短期的に見た場合、最も影響するのが第2四半期決算です。去年の第2四半期決算は「営業収益と運輸収入が5期連続の増収となり、過去最高」を記録しました!

過去最高の営業収益に対する年末手当(成果配分)も過去最高だったのでしょうか?否!期待された会社回答は「3.18ヶ月分」という数字でした。この数字は社員の頑張りと収益に対して、極めて低いと言えます。

春闘や夏季手当はどうだったのか

では、年度末の2017春闘や6月に支給された夏季手当はどうだったのでしょうか。決算状況は好調を維持し続け、16年度期末決算は「増収増益」営業収益と運輸収入は5期連続の増収で期末決算としても過去最高でした!

それに対する春闘回答は、「定期昇給係数4、社員一律1,000円のベア。グリーンスタッフの基本賃金に500円加算」というものでした。夏季手当は「2.91ヶ月分、エルダー社員の精勤手当に1万円加算」でした。**なぜ、過去最高の決算を更新し続けているのに社員の賃金は微増であり、収益に比例して上がらないのでしょうか!**

シリーズを通して、今年度の決算や近年の効率化施策、人件費の推移、予想される会社の言い訳、取り巻く物価上昇などを掲載していきます。皆が関心を持とう!

会社の出し渋りを許してしまひます!

しっかり声を出し、要求満額を勝ち取りましょう!